



涌小通信

知内町立涌元小学校

〈学校教育目標〉

よく考える子 思いやりのある子 健康な子

重点教育目標「粘り強く学び 最後までやり切る心をもった子供の育成」

令和4年7月25日発行

素敵なお子に育っています！

校長 柳澤 満

毎朝、校長室から見える素敵なお風景があります。朝、登校したお子は、畑や花壇に水をやります。その様子を校長室から眺めながら一日が始まります。水をあげているお子の表情は、優しさに満ちあふれています。低学年のお子は、何か話しかけているようにも見えます。命ある花や野菜を、心から大切に育てていることが伝わってきます。

私はこの4月から校長1年目としてこの涌元小学校に赴任しました。初めての校長職ということで、職員・保護者・地域の皆様に支えられてのスタートでした。ありがとうございます。

さて、先日、「初心を思い出そう」と私が教師になった一年目の学級通信を読み返してみました。夏休み前のお便りには次のような内容が掲載されていました。

1994年7月25日 空知管内南幌小学校 5年4組学級通信「あすなろ」より

- 「勉強しておくとお将来の選択肢が広がります！」
- 「読み・書き・計算」が全ての勉強の土台になります
- 「うそをつくとお自分にとっての最大のイメージダウンです」
- 「人に優しくしてください」
- 「係の仕事など学校でもみんなのためになる仕事をたくさんしてください」
- 「人を小馬鹿にする態度や自慢は相手から嫌われます！」
- 「あたたかい雰囲気のおクラスでなければ勉強もできるようにはなりません」
- 「一生懸命に取り組む姿が、かっこいい姿なのです」
- 「家の手伝いをしなさい」
- 「親や家族を大切にしてください」
- 「努力はきっとおもしろいということを感じてください」
- 「自分のことを思ってくれる人間を裏切っちゃはいけません」

この一学期、私がお子供たちによくかけてきた言葉です。先日、「最近、この人が変わったなあとと思うところはありますか？」と聞いてみました。すると「〇〇くんが最近、弱音を言わなくなった」という答えが……。本人に聞くと「強い自分になりたい」とのこと。自分を変えたいという気持ちが出てきたのです。というか、おクラスのお子供たち全員が「努力すること」のおもしろさや大切さに気づいています。

今読み返すと、若気の至りというか、「熱い思い」が何だか恥ずかしいです。けれど、校長になった今も根っこの部分はこんな思いを抱いて、お子供たちに接しています。

7月の朝礼で、お子供たちに「校長先生のお気に入りコーナー」というタイトルで「がんばっている人」を紹介しました。

○朝学習の時、まちがったところをしっかりとなおして次に進んでいる人
○学習のスタート時からすぐに勉強に取り組める人
○家庭科の裁縫の時に丁寧さとやる気に満ちあふれた真剣な表情の輝いている人
○プログラミング学習の時に一言もしゃべらないで画面に集中している人
○職員室でのあいさつでは、優しいノックと相手を見てあいさつをして優しさを届けてくれる人
○知内町の特産品をわかりやすく工夫してまとめたリーフレットをつくった人

私が教師になったばかりの理想とする姿とおこの涌元小学校のお子供たちの姿にはたくさんの共通点があります。それは、**「丁寧さ」「感謝の思いを伝えられること」「質の高い集中力」「相手への気配り・優しさ」「真面目さの継続力」**等です。

涌元小学校のお子供たちは「優しさや一生懸命さがかっこいい」ことをしっかりと理解しています。そして、**「何よりも自分や他人という「人」を大切にしよう**としています。いいスタートを一学期に切ることができました。

この良さを、二学期もさらに育てて行きたいと強く思います。1学期中、保護者・地域の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。